

2013年度生

[理工学部] 電子工学科

中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(工業)

※ 中一種免(数学)・高一種免(数学)とも p. 142～145 を参照。

※ 高一種免(工業)はp. 142～144, 146 を参照。

第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)… p.142

第②欄(教職に関する科目)…………… } p.143～144

第③欄(教科又は教職に関する科目)…………… }

第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))…………… } 数学… p.145

第⑤欄(教科に関する科目(選 択))…………… } 工業… p.146

[単位の履修方法]

	必要単位数		
	中一種免(数学)	高一種免(数学)	高一種免(工業)
第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)	9単位		
第②欄(教職に関する科目)	35単位	29単位	
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))	26単位	26単位	22単位
上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より 選択		6単位	10単位
合 計	70単位	70単位	70単位

電子工学科 中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(工業)				
日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作				
	免許法施行規則に定める科目	本 学 基 準		
		科 目 名	単 位	履 修 方 法
第①欄	日本国憲法	日本国憲法	2	2単位必修
		憲法 1	2	
		憲法 2	2	
	体 育	スポーツ・パフォーマンス 1 *	1	必 修
		健康の科学 *	2	2単位必修
		スポーツの科学 *	2	
		スポーツと健康 *	2	
		トレーニングの科学 *	2	
	外国語コミュニケーション	コミュニケーション 1 *	1	必 修
		コミュニケーション 2 *	1	
情報機器の操作	コンピュータプログラミング I	1	必 修	
	コンピュータプログラミング II	1		

*は全学共通教養教育科目

2013年度生 電子工学科 中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(工業)

教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目

第②欄 (教職に関する科目)	免許法施行規則に定める科目区分等		本学基準		
	科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単位数	履修方法
第②欄 (教職に関する科目)	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2	必修
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原理	2	必修
			発達と学習の心理学	2	必修
		・教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	学校経営と法規 教育社会学(1) 教育社会学(2)	2 2 2	1科目必修
			人権教育論	2	必修
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2	必修
		・各教科の指導法	① 教科教育法 A1 (数学)	2	中一種免(数学)および中高両方の場合は①③④が必修 高一種免(数学)のみは③④が必修 工業は⑤⑥が必修
			② 教科教育法 A2 (数学)	2	
			③ 教科教育法 B(数学)	2	
			④ 教科教育法 C(数学)	2	
			⑤ 教科教育法A(工業)	2	
			⑥ 教科教育法B(工業)	2	
	・道徳の指導法	※ 道徳教育の理論と実践	2	中一種免のみ 必修	
	・特別活動の指導法	特別活動論	2	必修	
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	視聴覚教育	2	選択	
教育方法論		2	必修		
・生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法	2	必修	
・進路指導の理論及び方法					
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 学校カウンセリング	2 2	1科目必修		
教育実習		教育実習指導	1	必修	
		教育実習 A	2	中一種免および中高両方の場合「AとB」または「C」が必修, 高一種免のみは「B」が必修	
		教育実習 B	2		
		教育実習 C	4		
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	必修		
第③欄	教科又は教職に関する科目	※ 道徳教育の理論と実践	2	高一種免のみ選択	

※「道徳教育の理論と実践」は中一種免では必修科目, 高一種免の場合は「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

[教職科目の設置学科 (なお, 下記以外の科目は社会学部・心理学部設置)]

* 「教科教育法A1(数学)」, 「教科教育法A2(数学)」, 「教科教育法B(数学)」, 「教科教育法C(数学)」…機械システム工学科, エネルギー機械工学科

* 「教科教育法A(工業)」, 「教科教育法B(工業)」…電気工学科

* 「教育実習指導」, 「教育実習A」, 「教育実習B」, 「教育実習C」, 「教職実践演習(中・高)」…機能分子・生命化学科

* 「人権教育論」, 「教育課程論」…理工学部のすべての学科

[注]1. 取得しようとしている教科の教科教育法以外の教科教育法を修得しても, 免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄には単位数として算入できないので注意して登録すること。

2. 中一種免と高一種免の両方の免許を取得しようとしている場合, 教育実習Cを履修することによって, 高一種免の第②欄の必要な単位数を2単位オーバーすることになるが, この2単位は免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄の単位数には算入できないので注意して登録すること。

2013年度生 電子工学科 教育実習条件科目について
中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(工業)

1. 教育実習の時期と期間

① 中学校教諭免許のみ または 中学校・高等学校教諭免許両方を取得する場合

イ. 「教育実習C」・・・ 4年次に3週間または4週間を課す実習校

ロ. 「教育実習A」と「教育実習B」・・・ 3年次・4年次それぞれ2週間の教育実習 を課す実習校

(基本的には、イの4年次に実習を行う「教育実習C」になります。)

} イまたはロのいずれかの教育実習が必要です。

② 高等学校教諭免許のみを取得する場合

「教育実習B」・・・4年次に2週間の教育実習が必要です。

2. 教育実習条件科目

下欄の表の ○印の科目 および 指定された教科教育法が条件科目になります。

* どの教科の免許を取得するか, 教育実習がどのタイプかを確かめて条件科目を確認してください。

* 学部生の基準で年次を入れていますが 大学院生, 科目等履修生の場合も「教育実習A」、「教育実習B」、「教育実習C」を登録する 前年度末までに必ず条件科目の単位を取得してください。 教育実習を履修済みの学生が再度実習に行く場合の条件科目については、免許資格課程センター事務室に確認してください。

<教育実習条件科目>

		教職概論	教育原理	発達と学習の心理学	① 教科教育法 A1(数学) ② 教科教育法 B(数学) ③ 教科教育法 C(数学) ④ 教科教育法 A(工業) ⑤ 教科教育法 B(工業)	教育実習 A	人権教育論
中一種のみ または 中一種・高一種 両方の免許を 取得する場合	イ 教育実習C 条件科目 (3年次末までに取得)	○	○	○	①②③のうち いずれか1科目		○
	ロ 教育実習A 条件科目 (2年次末までに取得)	○			①		
	教育実習B 条件科目 (3年次末までに取得)		○	○		○	○
高一種免許 のみを 取得する場合	教育実習B 条件科目 (3年次末までに取得)	○	○	○	教育実習が 数学の場合は②③の, 工業の場合は④⑤の, いずれか1科目		○

※ 条件科目以外の教科教育法についても3年次末までに履修しておくことが望ましい。

[注]1. 教育実習の条件科目としては1科目以上(指定あるいはいずれか)必要。

2. 免許を取得するためには免許・資格関係履修要項の第②欄の教職に関する科目の履修方法に従ってそれぞれの教科に関するすべての教科教育法を修得しなければならないので、注意して登録すること。

上記以外にも教育実習を行うための履修資格(P. 14 V. 教育実習(2)履修資格)が記載されているので、確認すること。

2013年度生 電子工学科

中一種免(数学), 高一種免(数学) 教科に関する科目

		免許法施行規則に定める科目	科 目 名	単 位	履修方法
第 ④ 欄	教科に関する科目(必修・選択必修)	代 数 学	線形代数学 I	2	必 修
			線形代数学 II	2	
			代数学	2	
		幾 何 学	幾何学 I	2	必 修
			幾何学 II	2	
		解 析 学	解析学 I	2	必 修
			解析学 II	2	
解析学 I 演習	1				
解析学 II 演習	1				
複素解析	2				
フーリエ解析	2				
微分方程式	2				
「確率論, 統計学」	数理統計学	2	必 修		
コンピュータ	コンピュータプログラミング I	1	必 修		
	コンピュータプログラミング II	1			
第 ⑤ 欄	教科(選択科目)に関する科目	整数論	2	選 択	
		情報理論	2		
		ベクトル幾何	2		
		応用幾何学	2		
		シグナルプロセッシング	2		
		制御工学	2		
		電磁波論	2		
		積分論	2		
		振動と波動	2		
		応用解析	2		
		金融・投資の統計科学	2		
		熱統計力学	2		
		コンピュータ応用解析	2		
		数値解析	2		
コンピュータと数学	2				

2013年度生 電子工学科 高一種免(工業) 教科に関する科目

		免許法施行規則に定める科目	科 目 名	単 位	履修方法
第 ④ 欄	教科に関する科目 (必修・選択必修)	職 業 指 導	※職業指導	2	必 修
		工業の関係科目	電気磁気学Ⅰ	3	必 修
			電気磁気学Ⅱ	3	
			電気回路学Ⅰ	3	
			電気回路学Ⅱ	3	
			基礎演習実験	2	
			電気基礎実験Ⅰ	2	
			電気基礎実験Ⅱ	2	
		電子工学実験Ⅰ	2		
第 ⑤ 欄	教科に関する科目 (選択科目)		伝送線路論	2	選 択
			電気電子材料	2	
			電気・電子計測Ⅰ	2	
			光エレクトロニクス	2	
			電子工学実験Ⅱ	2	
			電気・電子計測Ⅱ	2	
			アンテナ工学	2	
			電気基礎実験Ⅲ	2	
			電子回路	2	
			アナログ電子回路	2	
			デジタル電子回路	2	
			過渡現象論	2	
			電子デバイスⅠ	2	
			電子デバイスⅡ	2	
			固体物性論	2	
	マイクロ波工学	2			

※ 「職業指導」は、化学システム創成工学科設置

○ 理工学部以外の学部生および全研究科大学院生、全学部科目等履修生が「工業の教科に関する科目」のうち実験科目を履修する場合は実験実習料(1単位につき、2500円)を納入しなければならない。

○ 「教育職員免許法 附則11項」による 高1種 工業 の免許取得

上記附則11項の特例により、「教職に関する科目」(第②欄)の全部または一部の単位を、同数の「教科に関する科目」(第④欄, 第⑤欄)の単位の修得をもってかえることができる。ただし「教職に関する科目」はできる限り履修することが望ましい。

なお, 第①欄の必修科目および選択必修科目は履修が必要である。